

令和2年度第2回 豊能町立図書館協議会 会議報告

1	会議の名称	令和2年度第2回 豊能町立図書館協議会
2	開催日時	令和3年3月30日(火) 14時00分～15時30分
3	開催場所	豊能町立図書館 集会室
4	事務局	生涯学習課 図書館
5	出席者	加藤 勝美委員 金井 理枝子委員 田中 未知委員 西村 はるみ委員 藪田 昇太郎委員 (欠席委員なし)
	事務局	生涯学習課長 中谷 康彦 図書館長 藤木 裕美 図書館主任 泉 尋
6	会議の次第	1. 会長挨拶 2. 生涯学習課長挨拶 3. 議題 1) 読書バリアフリーに向けた図書館サービスについて 2) 報告事項 ・令和3年度予算について ・令和3年度事業について 4. 連絡事項
7	審議等の要点	別紙のとおり

令和2年度第2回 豊能町立図書館協議会 要点  
(令和3年3月30日(火)開催)

**開 会** (会長挨拶)  
(生涯学習課長挨拶)

**議 事**

1) 読書バリアフリーに向けた図書館サービスについて

**事務局** (事務局より説明)

読書バリアフリー法成立までの流れを資料を基に説明。

読書バリアフリー法を受けて、令和2年度に国が基本計画を策定し、続いて大阪府も計画を策定した。資料に大阪府の計画の概要案と計画案を添付。

これらを受けて、豊能町でも読書バリアフリーに向けた図書館サービスを令和3年度に実施する。障害者サービスとしてすでに実施していたサービスもあるが、それも含めて体系的に実施する。一部サービスには事前登録を行ってもらう。

新たに行うのは、サピエ図書館の利用、デジ再生機の貸出利用、資料の郵送対応等。

**委 員** 視覚障害者の方を含め、高齢者の方にはここまで来ることが出来ない人も多いと思う。一人暮らしの方も増えている。こういった良い施策も利用できないと意味がない。そのあたりの対応はどうするか？

**事務局** 委員のご指摘の通りだと思う。規模の大きい図書館では、送迎サービスまで行っているところもあるが、当館では予算・人員などから難しい。  
サービスの周知・実施には、課題を抱えておられる方と接する機会の多い民生委員や地区福祉委員、社会福祉協議会や福祉サービスの窓口と連携していきたい。

**委 員** 利用者にとってはサービスの利用に際し、最初のとっかかりが何よりも難しい。そのあたりを緩和するようなことも併せてお願いしたい。

**委 員** 妊婦の方や小さいお子さんを複数抱えておられる方も利用しにくいと思う。その対応も併せて考えてほしい。

**事務局** どういった方法が望ましいかわからないが、実施していく中で対応していきたい。

**委 員** 大活字本やLLブック等の予算は通常の図書費とは別に措置されているのか？

**事務局** 来年度については、措置されていない。通常の予算の中で対応することとなる。

## 2) 報告事項

- ・令和3年度予算について
- ・令和3年度事業について

**事務局** (事務局より説明)

詳細は資料「令和3年度予算について」「令和3年度事業計画(案)」「令和3年度図書館運営について」を参照。

バリアフリー対応事業以外では、4月から箕面市との相互利用の試行を開始する。基本的にお互いの住民と同様の条件で利用することが出来る。試行期間終了後は本格実施となる。

**委員** 読書バリアフリーの事業を行うとしながら予算が少ないのは残念な状況である。

**事務局** 予算にはデジ再生機の購入費用とサピエ図書館への会費を計上している。町の財政が厳しい中ではこれが精一杯であった。郵送貸出の郵便代や対面朗読の報償費は既存予算からの流用で賄うこととなる。初年度は件数が少ないことが予想されるため何とかないと想定している。それでも早めに事業を立ち上げ、予算要求までに実績を作ることが出来れば次年度予算に繋がると思っている。

**委員** 過去に図書館が指定管理の対象とされた際に、協議会としての提言をまとめ町に提出したことがあった。同じように豊能町立図書館のバリアフリー施策はこうあるべきというのを協議会として提言する必要があるのではないか。次年度の協議会で検討してほしい。

**事務局** 検討させていただく。

## 5) その他

**委員** 以前に「ニューヨーク公共図書館 エクス・リブレス」という映画を通じて一部の協議会委員と図書館司書で、意見交流を行った。この度図書館でもこの作品のDVDを資料として購入したことから、他の委員にもぜひ見ていただいた上で意見交流を行いたい。また、この作品に限らず、普段図書館勤務の司書さんとは意見を交わす機会が少ないため、協議会委員としてもっと交流を持っていきたいと感じている。